

数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）教育モデルカリキュラム

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）

現代社会ではデジタル化とグローバル化が不可逆的に進み、社会・産業の転換が大きく進んでいる。「数理・データサイエンス・AI」は、今後のデジタル社会の基礎知識（いわゆる「読み・書き・そろばん」的な素養）として捉えられ、学生が身に付けておくべき素養であるとする。

教育モデルカリキュラムの目的（身につけることができる能力）

現代のデジタル化社会でリテラシーレベルの素養と位置付けられる数理・データサイエンス・AI を適切に理解し、それを活用する基礎的な知識及び技術能力を体系的に修得することを目的とする。

教育モデルカリキュラムの概要

現代の社会変化に対応できるよう、社会で活用されているデータを取り上げ、利用者の視点と専門的知見を組み合わせることによって社会や日常生活の課題を解決する切り口になることを理解する。医療に関連する数理・データサイエンス・AI も産業界および社会のさまざまな領域で適用できる可能性を持つため、将来的に価値あるデータ活用ができる基盤となるリテラシースキルを、独創性を講義・演習をとおして修得する。また、情報活用の上での倫理的配慮の重要性を理解し、実践する。

学修目標

デジタル社会において、数理・データサイエンス・AI を日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AI に関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志で AI 等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。

教育実績モデルカリキュラムの構成

本教育モデルカリキュラムは、各学部・学科の認定科目によって構成される。認定科目は学科別に複数の科目で構成され、「社会におけるデータ・AI 利活用」「データ・リテラシー」「データ・AI 利活用における留意事項」を網羅し、その細項目を段階的に学修可能である。

認定科目の内容

各学科の教育内容に合わせて「認定科目」が設定される。詳細はシラバスを参照のこと。

<看護学科>

- 基礎ゼミ（1年前期必修）
- 情報リテラシー（1年前期：必修）
- データサイエンス（1年後期：必修）
- 情報機器の操作（1年後期：選択）
- 看護研究方法論（3年前期：必修）
- 保健統計学演習（3年前期：選択）

<リハビリテーション学科>

- 基礎情報処理学（1年前期：必修）
- 統計学（1年前期：必修）
- 数学（1年前期：選択）
- 医用情報処理学（1年後期：選択）
- リハビリテーション情報工学（2年前期：必修）
- 運動学演習（2年前期：必修）
- 研究概論（2年前期：必修）

文部科学省、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）
実施要綱細目との対比表 ※次頁

履修について

学科ごとに認定された「認定科目」を必ず履修すること。選択科目の場合には各人の必要に応じて履修する。本教育モデルカリキュラムの参加申請手続きは不要である。

修了要件

学科ごとに認定された「認定科目」の単位を取得する。単位の取得によって本教育モデルカリキュラムの修了とする。

【実施要綱細目とカリキュラムの対応箇所】（申請書の形式に準じる）

| 看護学科 | 科目名 | 基礎ゼミ | 情報リテラシー | データサイエンス | 情報機器の操作 | 看護研究方法論 | 保健統計学演習 |
|------------------------|------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 開講時期：必修選択 | 1 年前期：必修 | 1 年前期：必修 | 1 年後期：必修 | 1 年後期：選択 | 3 年前期：必修 | 3 年前期：選択 |
| 1. 社会におけるデータ・AI 利活用 | 1-1. 社会で起きている変化 | | | ○ | | | ○ |
| | 1-2. 社会で活用されているデータ | | | ○ | | | ○ |
| | 1-3. データ・AI の活用領域 | | | ○ | | | ○ |
| | 1-4. データ・AI 利活用のための技術 | | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | 1-5. データ・AI 利活用の現場 | | | ○ | | | ○ |
| | 1-6. データ・AI 利活用の最新動向 | | | ○ | | | ○ |
| 2. データリテラシー | 2-1. データを読む | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 2-2. データを説明する | | ○ | ○ | | | ○ |
| | 2-3. データを扱う | | | ○ | ○ | | ○ |
| 3. データ・AI 利活用における 留意事項 | 3-1. データ・AI を扱う上での留意事項 | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | 3-2. データを守る上での留意事項 | | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| 4. オプション | 4-3. データ構造とプログラミング基礎 | | | | | | |
| | 4-4. 時系列データ解析 | | | ○ | | | ○ |

【実施要綱細目とカリキュラムの対応箇所】（申請書の形式に準じる）

| リハビリテーション学科 | 科目名 | 基礎情報処理学 | 統計学 | 数学 | 医用情報処理学 | リハビリテーション 情報工学 | 運動学演習 | 研究概論 |
|--------------------------|-----------------------|---------|---------|---------|---------|-------------------|---------|---------|
| | 開講時期：必修選択 | 1年前期：必修 | 1年前期：必修 | 1年前期：選択 | 1年後期：選択 | 2年前期：必修 | 2年前期：必修 | 2年前期：必修 |
| 1. 社会におけるデータ・AI 利活用 | 1-1. 社会で起きている変化 | ○ | | | ○ | | | |
| | 1-2. 社会で活用されているデータ | | | | ○ | | ○ | |
| | 1-3. データ・AIの活用領域 | | | | ○ | ○ | | |
| | 1-4. データ・AI利活用のための技術 | | | | ○ | ○ | ○ | |
| | 1-5. データ・AI利活用の現場 | | | | ○ | ○ | | |
| | 1-6. データ・AI利活用の最新動向 | | | | ○ | ○ | | |
| 2. データリテラシー | 2-1. データを読む | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | 2-2. データを説明する | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | 2-3. データを扱う | | | | ○ | | ○ | ○ |
| 3. データ・AI利活用における 留意事項 | 3-1. データ・AIを扱う上での留意事項 | | | | ○ | | | |
| | 3-2. データを守る上での留意事項 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ |
| 4. オプション | 4-3. データ構造とプログラミング基礎 | | | | | | ○ | |
| | 4-4. 時系列データ解析 | | | | | | ○ | |